

## プレッシャーウォール設置工の作業手順



内 容	留 意 事 項
作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 埋設物の試掘確認	指示書の内容確認 安全ミーティング日報による 作業別安全チェックシートの活用。 安全装置の確認 条数深さの確認し立ち会いを行う。
所定の深さまで、バックホウにて掘削し、底面部は人力にて転圧する クレーン付きトラックで基礎を水平になるように据え付ける。 基礎の埋め戻しは30cm以下の層になるように転圧を行う。	作業車の設置は、平坦な場所に必ず敷き板を使用し アウトリガーを成るべく一杯まで張り出す。  有資格者による、機械作業を行う。 積載荷重の確認をする。
標識と支柱を取付ける。 支柱最上部に玉掛けを行い、クレーンにて吊り上げ、建柱を行う。 隣接するサイン板を連結させる。 コンクリートの打設を行う。 打設終了後は飛びはねた生コンをふき取り仕上げる。	支柱つり込み時は、吊り荷の下に入らない。 作業に合った保護具を使用する。 支柱地際部に水がたまらないように、全体より 少し高くする。 打設時はバイブレーターをあてる。
終礼の実施	安全ミーティング日報による

## 注意事項

安全帯を必ず使用する。  
 作業に合った保護具を使用する。  
 有資格者による、機械作業を行う。  
 規制内の車両誘導は、必ず行う。  
 吊り荷の下に入らない。  
 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。  
 車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。